



記者発表資料

平成31年2月28日
国土交通省
福島河川国道事務所

相馬福島道路(霊山～福島)
桑折高架橋(仮称)床版工の高耐久化に向け試験施工を実施

相馬福島道路 霊山～福島 は、平成32年度（一部区間を除く）の開通に向けて工事を進めています。
福島河川国道事務所では、コンクリート構造物の長寿命化を目指し、平成27年度より産学官が連携した品質確保の取り組みを試行的に実施しております。
この度、桑折高架橋(仮称)床版工の本施工に向け、床版工としての性能や施工計画上の必要な留意点を確認するため、試験施工及び関係者による見学会を実施します。

相馬福島道路は、常磐自動車道と東北縦貫自動車道を結ぶ約45kmの自動車専用道路であり、東日本大震災からの早期復興を図るリーディングプロジェクト（復興支援道路）として位置づけられています。

また、相馬福島道路の開通により、平時においては地域の暮らしや産業を支えるとともに、災害時には緊急輸送道路としての信頼性向上が期待されます。【別紙3参照】

記

1. 日 時 : 平成31年3月1日(金) 9時 ~ 15時(予定)
※異常気象等が発生した場合は、試験施工を延期となります。
2. 場 所 : 桑折町成田堰向地内【別紙1.2参照】
(桑折高架橋 P10 橋脚付近)
3. 試験施工概要
コンクリートの品質、適切な人員配置や使用機械の性能を確認するため、模擬床版(W6.3m・L=5.4m)を製作し、本施工と同様のコンクリートの試験、打設や養生を実施します。
4. 品質確保に向けた取り組み概要
 - 1) 「コンクリート構造物の品質確保に関する講習会」は、これまで6回実施しており、平成30年8月2日には「桑折高架橋(仮称)の品質確保に関する講習会」を開催しております。
 - 2) 品質確保の試行工事は、桑折高架橋(仮称)の下部工工事や彦平橋の床版工工事で実施しております。
5. 取材について
 - 1) 工事現場内での試験施工となりますので、取材時にはヘルメットの着用をお願いします。なお、ヘルメットは各自で準備をお願いします。
 - 2) 取材にあたっては、事故防止のため、担当者の指示に従いますようお願いいたします。

【発表記者会:福島県政記者クラブ、福島市政記者クラブ】

問い合わせ先			
国土交通省 東北地方整備局 福島河川国道事務所			電話 024-546-4331(代)
副 所 長	もと き まさ のぶ 本 木 雅 信		(内線205)
建設専門官	たか はし まさ はる 高 橋 正 晴		(内線401)

◇ 試験施工日時:3月1日(金) 9時~15時(予定)

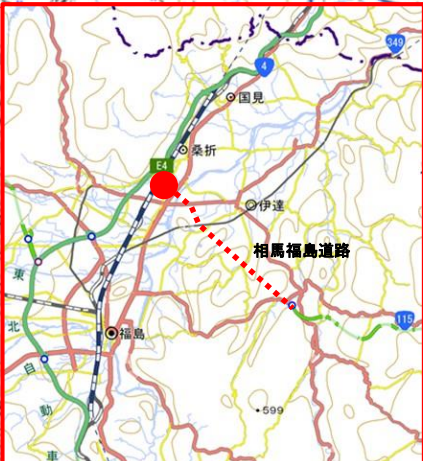
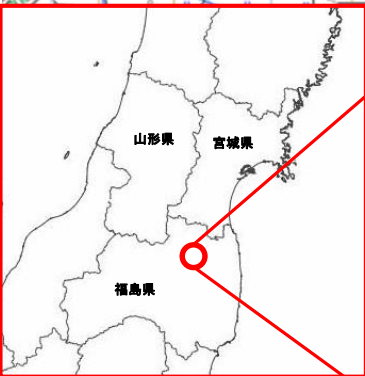


(仮)桑折高架橋
L=1,218m

【試験施工会場】

桑折JCT

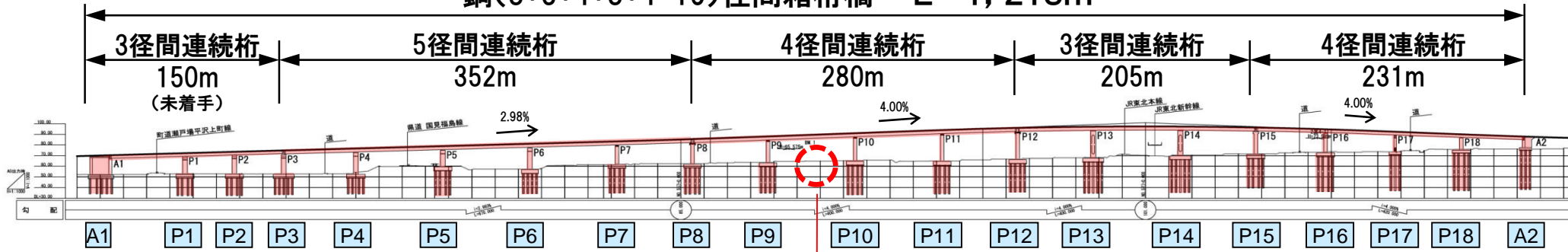
(仮)国道4号IC



この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の電子地形図(タイル)を複製したものである。【承認番号平30東複第23号】

側面図

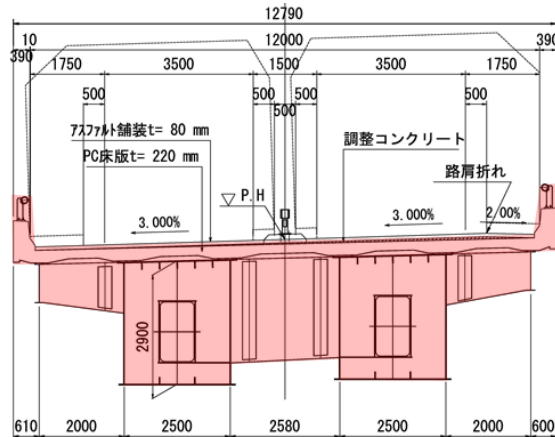
鋼(3+5+4+3+4)径間箱桁橋 L=1,218m



至:(仮)国道4号IC

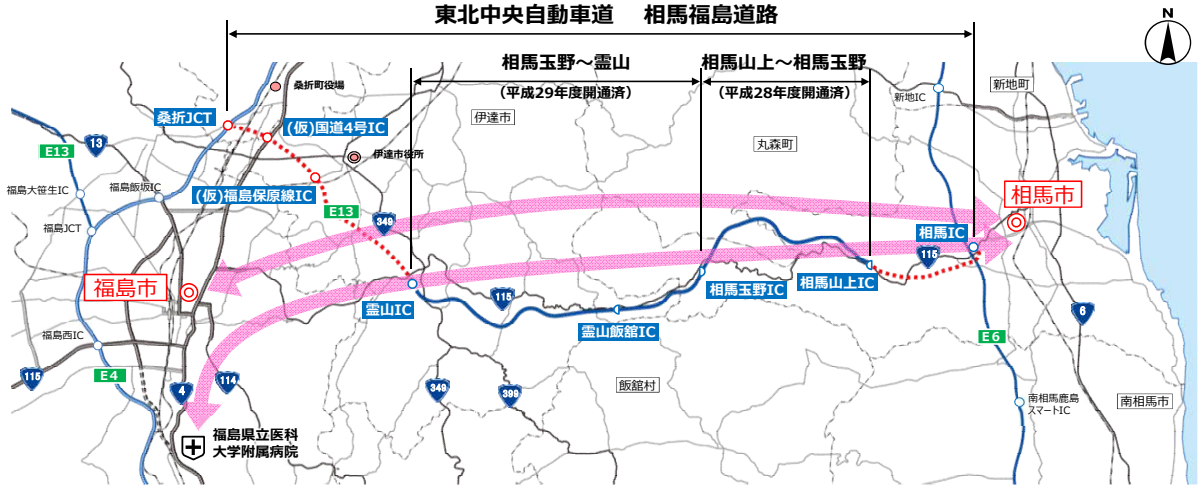


断面図

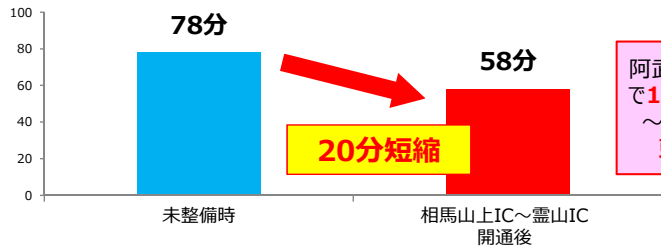


試験施工会場

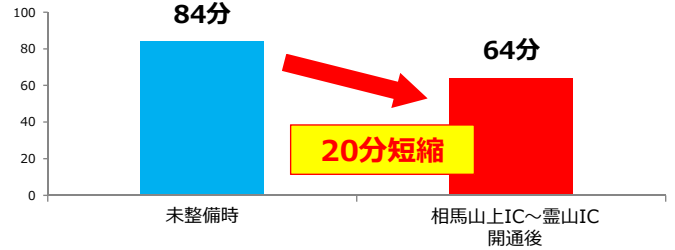
- ◆相馬福島道路（相馬山上IC～霊山IC）の開通により、相馬市～福島市間の所要時間は未整備時より20分短縮
- ◆救急搬送の速達性確保のほか、観光交流・企業活動の活性化を支援



▼相馬市役所⇄福島市役所の所要時間の変化



▼相馬市役所⇄福島県立医大病院の所要時間の変化

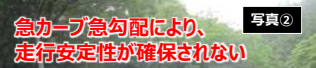
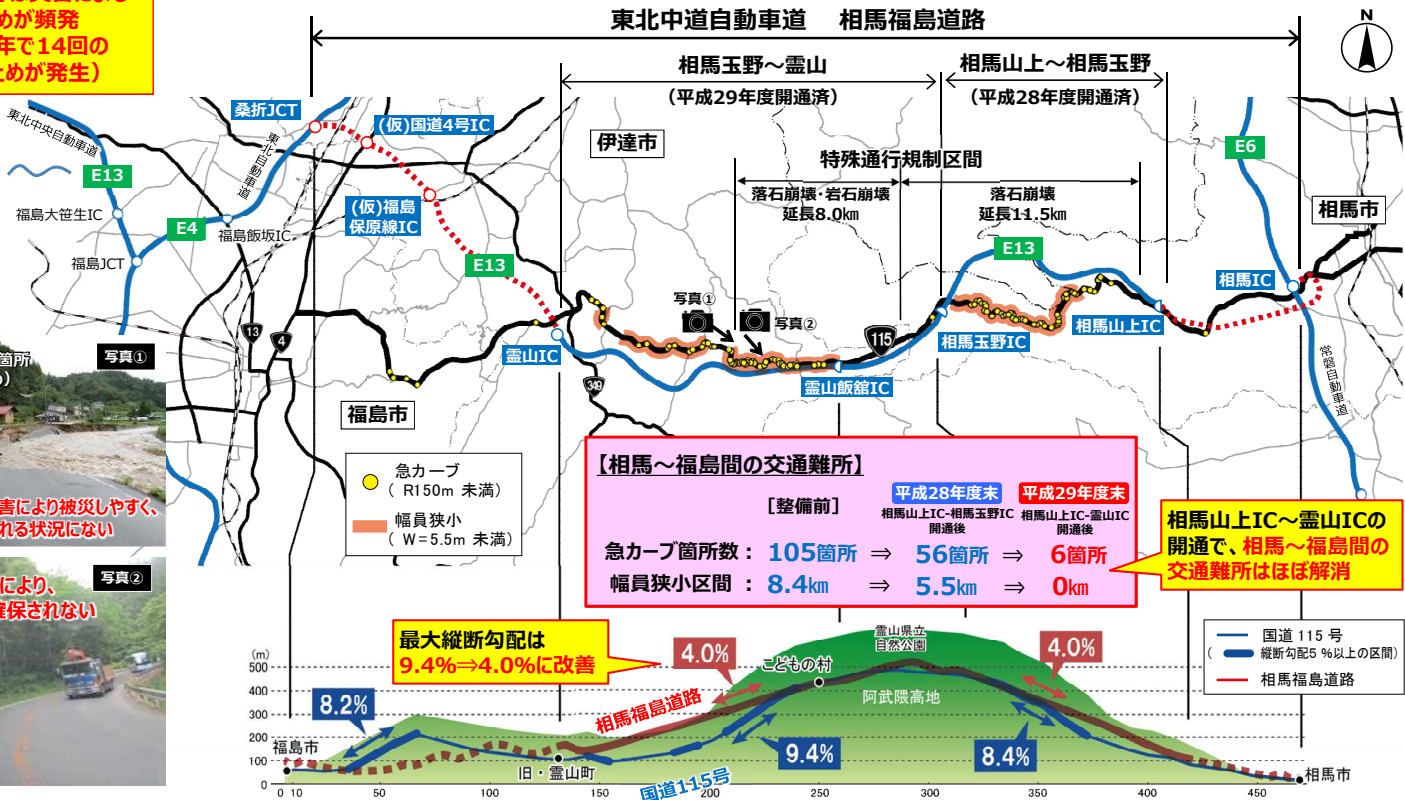


出典：H27年全国道路・街路交通情勢調査
 ※国道115号・相馬福島道路経由 ※相馬福島道路の区間は70km/hで算出

効果1：相馬～福島間の安全、安心な通行を確保

- ◆相馬～福島間を結ぶ国道115号は、急カーブや急勾配区間が連続し、災害等で通行止めが頻発
- ◆相馬山上IC～霊山ICの開通により、急カーブや急勾配、事前通行規制区間等の交通難所はほぼ回避できるようになり、相馬～福島間の安全、安心な通行を確保

国道115号では災害による通行止めが頻発（過去10年で14回の全面通行止めが発生）



別紙 3

効果 2 : 救急搬送の速達性・安定性を確保

- ◆相馬市等の沿岸部は、第三次救急医療施設がないため、福島市にある福島県立医大病院へ約8割が搬送
- ◆国道115号は線形不良箇所が多く、消防署からは搬送時の患者への負担が大きい等の課題を指摘
- ◆相馬山上IC～霊山ICの開通により、相馬市役所～福島県立医大病院間の所要時間は未整備時より20分短縮されるとともに、安定走行が可能となり、搬送時の患者への負担が軽減

【相馬消防署の声】
国道115号は急カーブや急勾配等の区間が多くあり、緊急車両も安定した走行が出来ず患者に負担を掛けている。

▼第三次救急医療施設への搬送割合 (H21～H28)

福島方面 福島県立医大病院	78%
仙台方面 仙台市立病院等	19%
沿岸3市町	3%
いわき方面 磐城共立病院等	

沿岸3市町から第三次救急医療施設への搬送件数 (H21～H28)

全搬送件数	920件/8年
うち、福島方面	713件 (78%)
うち、仙台方面	171件 (19%)
うち、いわき方面	30件 (3%)

出典：相馬地方広域消防本部ヒアリング

▼相馬市⇄福島県立医大病院間 (国道115号・相馬福島道路経由) の所要時間

未整備時: 84分
相馬山上IC～霊山IC開通後: 64分
20分短縮

出典：H27年全国道路・街路交通情勢調査
※所要時間は相馬市役所～福島県立医大病院間で算出
相馬福島道路の区間は70km/hで算出

幅員狭小により救急車両の走行に支障
現在：相馬福島道路を通行

【相馬山上IC～霊山IC間 救急搬送状況】

効果 3 : 交流人口の増加、活発な観光交流に期待

- ◆東北中央道 (福島～米沢) 開通後、福島市や米沢市内の観光施設において来訪者が増加 (約1.4～2倍増)
- ◆H30.3.24に開業した道の駅「伊達の郷りょうぜん」が開業後約4ヶ月で来場者70万人を達成、新たな観光・交流拠点の場を形成
- ◆相馬～福島間の整備により新たな広域ネットワークが形成され、更なる交流人口の増加と活発な観光交流に期待

▼東北中央自動車道・相馬福島道路開通に伴う広域的な観光周遊ルート形成イメージ

東北中央自動車道 福島～米沢 延長35.6km (H29.11開通)
東北中央自動車道 相馬～福島 延長約45km
霊山～福島 延長12.2km (2020年度開通予定)
相馬玉野～霊山 延長17.0km (H30.3開通)
相馬山上～相馬玉野 延長10.5km (H29.3開通)
相馬～相馬山上 延長6.0km (2019年度開通予定)

相馬福島道路整備後の観光周遊ルートイメージ

東北中央道の整備前後の米沢市⇄福島市の所要時間: 60分→43分 (約20分短縮)
相馬福島道路の整備前後の福島市⇄相馬市の所要時間: 78分→53分 (約25分短縮)

出典：H27年全国道路・街路交通情勢調査、東北中央道の区間は70km/h、相馬福島道路の区間は80km/hで算出

■飯坂温泉 (福島市)

▼山形方面からの来訪者数の変化

開通前 (H28.11)	4,900人
開通後 (H29.11)	9,700人

約2倍増

出典：「混雑統計」©ZENRIN DataCom CO., LTD.
※「混雑統計」データは、NTTドコモが提供する「ドコモ地図ナビ」サービスのオートGPS機能利用データより、許諾を得た上で送信される携帯電話の位置情報、NTTドコモが体系的かつ統計的に加工を行ったデータ。位置情報は5分単位で送信されるGPSデータ(緯度経度情報)であり、性別・年齢等の個人を特定する情報は含まれない。

道路開通に合わせた地域連携で山形方面からの観光客が増加

道路開通で地域連携

相馬 米沢と誘客を図る

出典：平成29年11月8日 福島民報

■道の駅 伊達の郷りょうぜん (伊達市)

平成30年3月24日 入込状況

主な施設：産直、レストラン、道路情報提供施設 等
敷地面積：約14,400㎡ 駐車台数：97台

▼道の駅「伊達の郷りょうぜん」来場者数推移 (累計)

開業後約4ヶ月で70万人突破

3/24開業

4/2累計 10万人突破

5/2累計 30万人突破

5月末時点累計 50万人突破

出典：伊達市

■上杉城史苑 (米沢市)

▼観光入込客数の変化

開通前 (H28.11)	43,000人
開通後 (H29.11)	58,400人

約1.4倍増

出典：上杉城史苑

5

別紙 3

効果 4 : 物流効率化で企業活動を支援

- ◆相馬港周辺は、相馬福島道路の整備を見据え企業立地が促進
- ◆国道115号の連続した線形不良区間を走行する際は、常に荷崩れや横転等の危険性が高く、ドライバーの精神的な負担が増大
- ◆相馬福島道路は、中通り地方と浜通り地方との物流を支える大動脈として機能し、走行性の向上や時間短縮による物流効率化により企業活動を支援

相馬港周辺は、相馬福島道路の整備を見据え企業立地が進んでいる

出典：福島県相馬港湾建設事務所

相馬玉野IC～霊山IC間の開通で高い横揺れが生じる箇所を回避でき、走行性が向上

出典：加速度調査結果（H28.9.22）より
 ※単位（G）とは、加速度の単位で、重力加速度を1.0Gと表した単位である。すなわち、1.0G=9.80665m/s²である。
 ※0.2G以上の揺れ・体が横滑りする感覚を受け、長く続けると不快感を受ける加速度

【化学薬品製造会社の声】

- 炭酸カルシウムは**急カーブ・急勾配が続くと重さが偏り横転する危険性**があります。
- 現在、輸送ルートは主に国道115号を利用しており、急カーブ箇所も多いため**常に細心の注意を払って輸送**しております。
- 相馬福島道路が開通すれば、**輸送時に横転する危険がなくなる**他、**輸送頻度・出荷量の増加**に繋がることも期待できます。

【農産物取扱流通会社の声】

- 沖縄県への米の出荷量は、年間約4,000tあり、沖縄県向けの米の約8割は会津・中通り地方から国道115号や相馬福島道路を通過して、相馬港まで輸送されます。
- 相馬福島道路が全線開通すると、**会津地方、中通り地方から相馬港への輸送負担が軽減**されます。
- 道路整備による**時間短縮、走行経費削減**にも大いに期待しています。

【相馬港進出の鋼材販売会社の声】

- 山形や秋田の日本海側への需要拡大が見込まれ、**東北各地へ高速道路を利用したアクセスが優れることから相馬港に進出**しました。
- 相馬福島道路が全線開通すれば、**物流面での効率化が格段に向上**します。

参考 - 東北地方の広域的な道路ネットワークが形成 -

- 東北中央道の開通により、**広域的な通行経路の選択が可能**となり、悪天候や災害時においても**寸断されない信頼性を確保**
- 相馬IC～横手JCT間における**所要時間は約100分（約3割）短縮**

縦軸（東北道・東北中央道・常磐道）と横軸（山形道・東北中央道・仙台南部道路）のラダー状のネットワークが形成、悪天候や災害時においても寸断されない信頼性を確保 ⇒ 広域的な通行経路の選択が可能に！

▼東北中央自動車道における起終点間の所要時間【相馬IC～横手JCT間】

区間	現況 (分)	将来 (分)	削減率
相馬IC～横手JCT	320	220	約100分の短縮 (約3割)
山形JCT～横手JCT	140	110	約30分の短縮 (所要時間約2割削減)
米沢八幡原IC～山形JCT	60	50	約10分の短縮 (所要時間約2割削減)
相馬IC～福島大笹生IC	80	40	約40分の短縮 (所要時間約5割削減)
福島大笹生IC～米沢八幡原IC	40	20	約20分の短縮 (所要時間約5割削減)

出典：平成27年度全国道路・街路交通情勢調査 昼間非混雑時旅行速度 ※所要時間・距離の記載は、東北中央自動車道開通後の所要時間にて算出 ※（ ）は現況とし、平成27年度時点の並行路線等の所要時間・距離を記載

6